

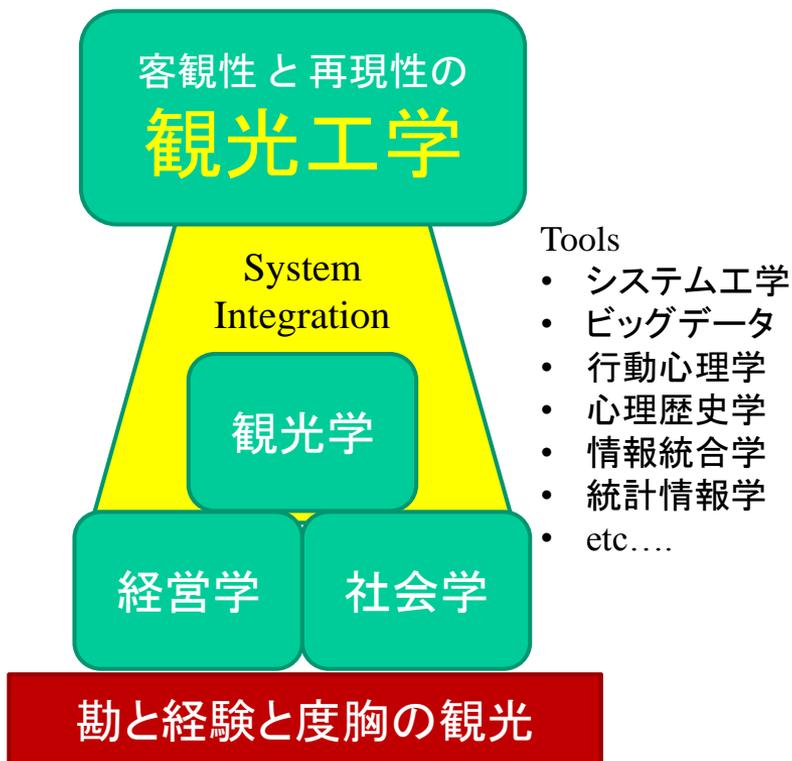
“観光工学 –客観性と再現性–”

[キーワード: 観光工学, 化学工学, プロセスシステム工学]

教授 高橋 幸司

独創的な職人の一回性から、

再現性を可能にしたエンジニアのアプローチ



内容:

グローバル化が進む昨今、日本国内におけるものづくりの多くの基盤が海外移転し、国内の生産拠点は空洞化しつつある。また国家の基盤であり地方の主要産業である一次産業は農山漁村の高齢化や後継者不足で縮小傾向にある。そのため地方ではツーリズムや観光を新たな産業として、今後の成長を模索している。

一方、従来の観光の戦術・戦略は事業者のKKD(勘と経験と度胸)によって立案され実行されてきた。ここに工学的なアプローチ、特にシステマティックな解析に新たなブレイクスルーを見いだす。

本来、工学は職人の勘と経験と度胸によるものづくりを解析し、エンジニアの観点で再構築する学問。そこでは誰でも理解でき、同じ品質の製品をいつでもどこでも作り出せる—客観性と再現性が求められる。すなわち

独創的な職人から客観性を持つエンジニアのアプローチへ
客観性と再現性が可能な観光の方法論をアカデミックに構築する研究に取り組んでいる。

所 属: バイオ化学工学
ものづくり技術経営学
専 門: 化学工学(液体混合工学)
観光工学

E-mail: koji@yz.yamagata-u.ac.jp

Tel : 0238-26-3156

Fax : 0238-26-3130

HP : http://vweb.yz.yamagata-u.ac.jp/mixing_lab/

